

# Mizuho Daily Market Report

2024/9/23

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	143.55	143.85	+1.22	+3.00
EUR	1.1161	1.1162	+0.0000	+0.0087
AUD	0.6814	0.6807	▲0.0007	+0.0103
SGD	1.2915	1.2905	▲0.0012	▲0.0071
CNY	7.0533	7.0470	▲0.0157	▲0.0502
MYR	4.1957	4.2037	▲0.0028	▲0.0975
THB	33.07	33.06	▲0.04	▲0.28
IDR	15131	15150	▲88	▲250
PHP	55.62	55.68	+0.08	▲0.32
INR	83.53	83.58	▲0.11	▲0.32
VND	24555	24602	+18	+22

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.741%	+2.8 bp	+9.0 bp
日本(10年)	0.850%	▲0.1 bp	+0.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.208%	+1.0 bp	+6.0 bp
オーストラリア(5年)	3.536%	▲1.6 bp	+8.7 bp
シンガポール(5年)	2.315%	+2.3 bp	+4.8 bp
中国(5年)	1.711%	▲1.3 bp	+0.5 bp
マレーシア(5年)	3.483%	+0.1 bp	▲0.2 bp
タイ(5年)	2.170%	▲3.3 bp	▲8.2 bp
インドネシア(5年)	6.228%	▲7.2 bp	▲23.5 bp
フィリピン(5年)	5.543%	▲11.4 bp	▲37.3 bp
インド(5年)	6.677%	+0.6 bp	▲2.8 bp
ベトナム(5年)	2.060%	+0.0 bp	▲2.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,063.36	+0.1%	+1.6%
N225(日本)	37,723.91	+1.5%	+3.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,871.54	▲1.5%	+0.6%
ASX(オーストラリア)	4,501.08	▲1.2%	▲0.5%
FTSE(シンガポール)	3,624.76	▲0.2%	+1.7%
SSEC(中国)	2,736.81	+0.0%	+1.2%
SENSEX(インド)	84,544.31	+1.6%	+2.0%
JKSE(インドネシア)	7,743.00	▲2.1%	▲0.9%
KLSE(マレーシア)	1,668.82	+0.2%	+1.0%
PSE(フィリピン)	7,252.32	+0.7%	+3.3%
SETI(タイ)	1,451.69	▲0.2%	+1.9%
VNINDEX(ベトナム)	1,272.04	+0.1%	+1.6%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	282.39	+0.1%	+3.1%
金	2,621.88	+1.4%	+1.7%
原油(WTI)	71.92	▲0.0%	+4.8%
銅	9,346.45	▲0.4%	+1.7%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	143.00	—	145.30
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6685	—	0.6830
USD/SGD	1.2900	—	1.3020
USD/CNY	7.0460	—	7.0690
USD/INR	4.1600	—	4.2230
USD/THB	32.60	—	34.05
USD/IDR	15110	—	15450
USD/PHP	55.30	—	56.70
USD/INR	83.30	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は142円台後半でオープン。日銀金融政策決定会合では市場予想通り政策金利の据え置きが発表された。声明文において個人消費の見通しの上方修正の文言等が見られたことを受けてか、ドル円は発表直後の上下動のちに軟調気味に推移した。結局141円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は概ね堅調推移。FRBによる大幅利下げを受け比較的良好なリスキュメントの中、新興国通貨が買われる展開に。マレーシアリングは2022年3月以来となる高水準での推移となっている。

海外市場のドル円は、植田日銀総裁の記者会見において今後も経済と物価の見通しに応じ、金融緩和の度合いを調整していくとの姿勢は維持したものの、「今後の追加利上げを急がない」との発言が伝わると、円売りが優勢となり144円台半ばまで上昇した後、144円台前半でNYオープン。NY朝方は143円台半ばまで売られる場面もあったが、その後は低下していた米金利が上昇する展開を受け、144円台半ばまで反発。しかし、ウォラーFRB理事が「ディスインフの進展が一段と確認できた場合や、労働市場が予想外に悪化した場合再度50bpsの利下げの可能性もある」との発言が伝わると、143円台半ばまで反落。その後一時144円台を回復する場面もあったが、長続きはせず、143円台後半まで反落し、同水準でクロス。

## 【金利】

先週金曜日の米金利は低下。ウォラーFRB理事より今後の経済指標次第で再度50bpの利下げをする可能性があるとの発言が伝わったことが金利低下要因となった。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。金曜日の日銀金融政策決定会合において金融政策が据え置かれたこと自体は予想通りではあったが、その後の植田総裁の会見からは利上げを急ぐ姿勢は確認されず早期利上げ期待はすぐには盛り上がりづらい状況。米国の利下げは相応に織り込みが進んでいることを踏まえるところから一段とドル売りが進むには追加の材料が必要と考えられ、本日については先週の流れを引継ぎ底堅い推移を予想する。

## 【本日の予定】

(日本) 休場 振替休日(秋分の日)  
(アジア) 2Q インド 国際収支・経常収支  
(アジア) 8月 シンガポール CPI  
(アジア) 8月 マレーシア CPI  
(アジア) 9月 インド PMI製造業(速) / サービス業(速)  
(アジア) 9月 豪 PMI製造業(速) / サービス業(速)  
(欧州) 9月 ユーロ圏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)  
(米国) 8月 シカゴ連銀全米活動指数  
(米国) 9月 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)  
(米国) ケールスビー・シカゴ連銀総裁講演  
(米国) ホステック・アトランタ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。